



「浪花天保山風景」歌川貞舛画 提供 大阪府立中之島図書館

展示

水都大阪の歩み -近世から近代の川と港を中心に-

慶応4年(1868)7月15日に安治川の川口に大阪港が開港して150年目を迎えます。江戸時代の河村瑞賢による治水工事は「天下の台所」と形容されるほどの経済力を、当時の大坂にもたらしました。しかし、安治川の開削によって流砂の堆積を生じ廻船の航行に支障を起こします。幕府は、これに対処し「御救大浚え」を行い、その土砂が現在の「天保山」を形成します。

今回の展示は「水都大阪の歩み-近世から近代の川と港を中心に-」と題し、川と港を中心に、その足跡を関係史蹟からたどり、その舞台をパネル紹介します。また、大阪歴史博物館特集展示「大阪町めぐり 安治川と天保山」と連携し講演会を企画しました。展示と関連講演会をとおして大阪の魅力を再発見したいと思います。

展示期間 平成29年6月21日(水曜日)から8月20日(日曜日)まで
 展示場所 大阪府立中央図書館1階展示コーナーC
 休館日 月曜日は休館日、ただし7月17日(月曜日・祝日)は開館、翌18日(火曜日)休館
 開館時間 9時から19時まで(土日祝祭日は17時まで)

関連講演会 「江戸時代の大坂の港と舟運」

講師 八木 滋さん(大阪歴史博物館学芸員)
 日時 7月9日(日曜日) 14時から15時30分
 会場 大阪府立中央図書館2階大会議室
 定員 70名(先着順, 申込不要, 受講無料)

講演概要 「江戸時代の大坂の港と舟運」

大阪の地は瀬戸内海の東端に位置し、古代の難波津以来、港として栄えてきました。とくに江戸時代には、「天下の台所」と言われるように全国的な流通の中心地となりました。それを支えていたのが舟運です。それは、全国を行き来する廻船や、市中に張り巡らされた堀川を行き来する上荷船（うわにぶね）や茶船（ちゃぶね）などでした。また、港のようすも現在とは少し異なっていました。今回の講演会では、大阪「開港」前史として、江戸時代の大坂の物流を担っていた港と舟運についてお話します。

大阪歴史博物館 特集展示のご案内

「大阪町めぐり 安治川と天保山」

今回の「大阪町めぐり」では、大阪港が開港して今年で150年目を迎えることから、大阪の港にゆかりの深い安治川と天保山を取り上げます。

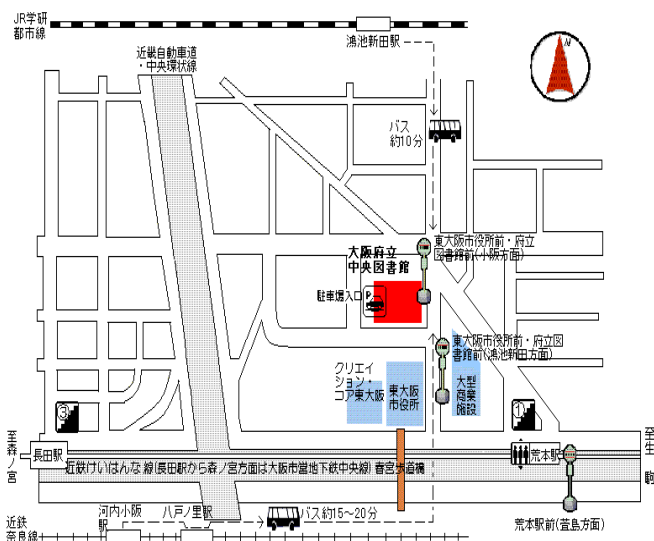
会 期：平成29年6月21日（水曜日）から8月28日（月曜日）まで
火曜日休館。ただし8月15日（火曜日）は開館

開館時間：9時30分から17時30分
（会期中の金曜日は20時まで開館 ただし、6月23日・6月30日・7月7日を除く）
※入館は閉館の30分前まで

観 覧 料：大人600円、高校生・大学生400円、中学生以下無料
（常設展示観覧料でご覧いただけます。）

アクセス：地下鉄中央線・谷町線「谷町四丁目」駅②号・⑨号出口
大阪市営バス「馬場町」バス停前

※講演会の参加に際して、障がい等の状況により、配慮が必要な方は事前にお知らせください。



[アクセス]

- 近鉄けいはんな線（地下鉄中央線乗り入れ）
荒本駅下車（1番出口）北西へ約400M
長田駅下車（3番出口）北東へ約1000M
東大阪市役所北側

問い合わせ先

大阪府立中央図書館 生涯学習事業担当

〒577-0011

東大阪市荒本北1-2-1

TEL 06 (6745) 0170

FAX 06 (6745) 0262

[駐車場]

○有料地下駐車場：120台/入庫後15分間は無料（平日は100円/60分、最大料金500円、土日祝祭日は150円/60分、最大料金600円）

○詳しくは、次のホームページをご覧ください。

<https://www.librarv.nref.osaka.in/site/central/>